

量子基礎論賞（学生発表賞）規定

本賞は、研究会 Quantum Foundations (以後 QF) において優れた研究発表を行った学生を表彰するために設けられたものであり、量子基礎論分野の発展および若手研究者の育成を目的とする。また、本賞は、研究会 QF の主催により授与される。

[1] 審査委員

審査委員は、QF の運営委員を含む専門家によって構成し、公平・中立な立場から審査を行う。

QF26 (2025 年度) の審査委員（五十音順・敬称略）：

飯沼昌隆（広島大学）、木村元（芝浦工業大学）、倉持結（九州大学）、谷村省吾（名古屋大学）、筒井泉（高エネルギー加速器研究機構 KEK）、羽田野直道（東京大学）、細谷暁夫（東京工業大学）、李宰河（東京大学）

[2] 受賞人数

原則 2 名とする。

[3] 審査方法

- ・審査は、事前提出資料および当日の発表（口頭発表・ポスター発表を含む）に基づいて行う。
- ・公平性を確保するため、審査委員は利益相反のある発表者（指導教員、密接な共同研究者など）を審査対象外とする。
- ・投票結果に基づき審査委員会で協議のうえ最終的な受賞者を決定し、受賞者には個別に通知するとともに、研究会ウェブサイトでも公表する。

[4] 審査基準

- ・量子基礎に関連するテーマを対象とし、事前提出資料および発表内容に基づいて、新規性・重要性、説明の明瞭さ、ならびに発表者の貢献度を総合的に評価する。

[5] 応募資格及びその他の規定

- ・受賞審査を申請できる者は、講演申込時に、大学生または大学院生（修士課程・博士課程を含む）、もしくは大学院修了後概ね 3 年以内の者であり、かつ、研究会 QF において口頭発表またはポスター発表を行う者とする。
- ・過去に本賞を受賞した者は、再応募できないものとする。

[6] 時期

本賞は、2025 年度に開催される QF26 より開始し、以後、毎回の研究会 QF において実施する。